

令和2年度指定管理運営業務評価票

施設名称：大阪府立門真スポーツセンター		指定管理者：OGS・関電FA・パティネリジャー 門真SC共同事業体		指定期間：令和2年4月1日～令和12年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S～C		S～		
I 提案の履行状況に関する項目	(1) 施設の設置目的及び管理運営方針	①施設の設置目的に沿った運営	<p>■体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、併せて文化的な集会及び催物の場を提供することを目的に大阪府の競技スポーツ・生涯スポーツの拠点施設として設置された大阪府立門真スポーツセンター（以下、「当施設」）の目的に沿った管理運営を実践。</p> <p>■当施設の管理運営にあたっては、利用者サービスの向上や経費の節減を図ることはもとより、民間の経営手法や人材・技術力などの活力を最大限に活かした運営を行うことにより、施設を有効利用した事業展開を図るなど、魅力的な施設運営を目指す大阪府の意向に沿った管理運営を実践。</p> <p>（評価点：3点）</p>	A	<p>門真スポーツセンター条例に記載のある設置目的に従って、「体育・スポーツ及びレクリエーションの新興を図り、併せて文化的な集会及び催物の場」を適正に提供できるよう、適切な管理運営を実施できている。</p> <p>メインアリーナにおいては、水泳の全国大会、各種団体の運動会、またアイスショーの利用等メインアリーナの転換に応じた利用がなされている。</p> <p>（評価点：3点）</p>	A	
		②提案した管理運営方針に沿った管理	<p>■施設を有効活用するために、自主事業としてスポーツ教室及び文化教室を実施。</p> <p>●スポーツ教室 → 講座数：20</p> <p>●文化教室 → 講座数：2</p> <p>■近隣3市と連携したプール利用補助券の販売実施。</p> <p>●令和2年上期（4月～9月）実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・門真市 利用者数：4,113人、前年差：▲2,827人</li> <li>・大東市 利用者数：2,369人、前年差：▲1,279人</li> <li>・寝屋川市 利用者数：1,147人、前年差：▲1,325人</li> </ul> <p>■職員の一般知識および専門知識向上のため各種研修を実施。</p> <p>●令和2年度：4月14日、5月12日（4、5月は緊急事態宣言中の為休館） 6月9日、7月14日、9月8日：安全研修および緊急対応訓練</p> <p>●令和2年7月14日：水中安全研修</p> <p>●令和元年9月8日：消防避難訓練</p> <p>（評価点：3点）</p>		<p>施設の特性を活かした自主事業（各種スポーツ教室や文化教室）を実施し、府民のスポーツ振興に貢献している。</p> <p>プール補助券については今年の10月より門真南駅に広告としてPRを行っており、近隣施設の利用者に対する周知となっている。</p> <p>職員に対する研修をはじめ水中安全研修、個人情報保護に関する研修等に加え、緊急対応訓練なども実施している。</p> <p>（評価点：3点）</p>		
		③社会貢献活動、環境活動、法令遵守の取組み	<p>■アクティブシニアパートナーへの参加及び、まいど子どもカードの登録</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブシニアパートナー利用実績 → 令和2年上期（4月～9月）実績：1名</li> <li>・まいど子どもカード利用実績 → 令和2年上期（4月～9月）実績：3名</li> </ul> <p>■地元中学校からの職場体験受入れ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受け入れ予定があったが、新型コロナウイルスの影響により辞退</li> </ul> <p>■内部監査を実施し指摘事項を即座に改善。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指摘事項 0件 ※摘項目に注意をし改善に繋がった。</li> </ul> <p>■プライバシーマークの取得後、全スタッフに研修を実施。</p> <p>■エネルギー管理基準の作成と推進委員会の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同事業体内定例会議にて情報共有を図り、各部署にて省エネ意識の向上に繋がった。</li> </ul> <p>（評価点：3点）</p>		<p>法令遵守の取組みとして各種コンプライアンス研修や自主内部監査を実施するとともに、個人情報の取扱いへの団体としての意識向上に努めている。</p> <p>環境活動として、事業体構成団体が情報の共有化とともに、省エネ意識の向上を図っている。</p> <p>（評価点：3点）</p>		館内にアクティブシニアパートナー、まいど子どもサービスの利用案内を掲示する。
	(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	①公平なサービス提供、対応状況	<p>■誰もが使いやすい施設・ハードの整備や、誰もが参加できる事業、平等に利用できる運用ルールの設定マナー向上の啓発を実施。</p> <p>■無料で参加できるプログラムとして、プールでは「ワンポイントレッスン」、トレーニングでは「サービスプログラム」を実施。</p> <p>（評価点：3点）</p>	A	<p>だれでも参加可能なワンポイントレッスンの実施により、老若男女を問わず水泳の能力向上を図ることが可能である。更に無料であることから、利用者が気軽に参加できると好評である。</p> <p>（評価点：3点）</p>	A	
		②高齢者、障がい者等に対する配慮	<p>■高齢者への利用配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●アクティブシニアパートナーへの参加 →利用料金の減免対応。 健康運動指導士5名、健康運動実践指導者1名を配置。</li> <li>●館内の案内掲示物を高齢者等が見やすい色合いに変更。</li> </ul> <p>■障がい者への利用配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→障がい者及び介助者の利用料金、駐車料金の減免対応。 障がい者スポーツ指導員を3名配置。 貸出し用の車椅子を設置。</li> </ul> <p>●令和2年上期（4月～9月）実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニングジム 利用者数：2,557人、前年比：48.2%</li> <li>・プール 利用者数：4,735人、前年比：107.9%</li> </ul> <p>（評価点：3点）</p>		<p>府福祉部が事業展開しているアクティブシニアのパートナー施設として登録している。また、健康運動指導士資格者を複数配置し、高齢者の安全な運動に配慮している。</p> <p>貸し出し用車椅子の配置、減免を実施するとともに、障がい者スポーツ指導員を3名配置するなど障がい者に対する配慮ができています。</p> <p>施設のバリアフリー情報を館内に掲示しており、利用者への配慮に努めている。</p> <p>（評価点：3点）</p>		

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S～C		S～		
I 提案の履行状況に関する項目	(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果	① 利用者増を目指したにぎわいづくり方策の取り組み	<p>■平成29年7月から駐車場料金の改正を行い、行事案内やホームページでの露出を強化。3年経過し、利用者にも定着してきており、売上、台数ともに前年を上回る結果となるが令和2年はコロナの影響により大きく減となる。</p> <p>●平成29年度及び、令和2年度上期（4月～9月）実績。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度 売上：16,463千円 台数：29,066台、1時間無料券：5,070件</li> <li>令和2年度 売上：4,486千円 台数：11,965台、1時間無料券：3,304件</li> </ul> <p>■「なみはやスイムフェスティバル」の開催。</p> <p>●8月16日（日）開催予定（コロナの為中止） 昨年参加：551名</p> <p>■「プールキッズデイ」の開催。</p> <p>※小さいお子さま連れの利用者拡大</p> <p>●実施日：4～6月（コロナの未実施）、7/4、9/7</p> <p>■新たな客層の開拓として、外部インストラクターが実施する有料プログラムを導入。「つぎはこのエアロ」「整ヨガ」「ヨガブラーナ」を増設。</p> <p>●令和2年度上期参加者数：158名 ※コロナ影響もあり伸び悩み。</p> <p>■専用利用の利用率向上ため、コロナでキャンセルになった枠の営業。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●アリーナでは吹奏楽・幼稚園を中心にお声かけを実施。</li> <li>●プールではレーン貸しを中心に施設利用の促進を実施。</li> </ul> <p>（評価点：4点）</p>	S	<p>平成29年7月に、駐車料金において料金体系を変更した後も、利用者への周知を積極的に行い、着実に利用台数、売り上げを増加させているが、今年はコロナの影響もあり減っている。</p> <p>駐車場機器の更新も行き、高額紙幣だけでなくクレジットカードやICカードの対応も可能となり、利用者にも好評である。</p> <p>継続してトレーニングルーム、プール等を利用された方への駐車場1時間無料サービスを継続し、利用者満足度を高めている。</p> <p>新たな利用者層を呼び込むための取り組みを行い、有料プログラムも導入。</p> <p>コロナの影響でキャンセルとなった利用枠について、専用利用の誘致活動を行い、利用率の向上に取り組んでいる。</p> <p>（評価点：3点）</p>	A	
		② 年間の広告・広報計画等の情報発信の取り組み〔指標〕利用者数 令和元年度実績：489,452人 令和2年度目標：450,000人 9月末現在実績：91,605人	<p>■トレーニングジム、プール利用促進のため、行事案内、ホームページを活用した広報を継続的に実施。</p> <p>■施設のPRとして、TV局等のマスメディアからの取材、撮影協力を積極的に実施。</p> <p>■門真南駅掲示板上に施設情報を掲載し、乗降者へのPRを実施。</p> <p>■会議室検索サイト「会議室.COM」への継続掲載を実施。</p> <p>（評価点：3点）</p>		<p>マスメディアからの取材や撮影協力、駅掲示板的の掲示、広報活動を着実に展開している。特に、門真南駅周辺における広報活動（駅構内への広告掲示）を強化しており、地域の利用者の呼び込みに積極的に取り組んでいる。</p> <p>（評価点：3点）</p>		
	(4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果	① 提案のあったサービス向上策の取り組み	<p>■業務推進委員会・設備連絡会にて、会議形式を変更し、懸案事項を活発に出し合えるように工夫を行った。</p> <p>■有資格者の配置を継続</p> <p>健康運動指導士5名、健康運動実践指導者1名、障がい者スポーツ指導員3名、体育施設管理士1名、NACA認定CSCS取得者1名、フィットネストレーナー1名、スポーツプログラマー1名</p> <p>（評価点：3点）</p>	A	<p>指定管理者グループ構成員が集り業務推進委員会・設備連絡会議等を定期的に開催することで、各社連携をとり、利用者へのサービス向上に繋げている。</p> <p>各種有資格者を継続的に配置し、それぞれの資格に合わせたサービス等を展開し、利用者の満足度向上に努めている。</p> <p>（評価点：3点）</p>		
		② 自主事業の取り組み	<p>■自主事業としてスポーツ教室、水泳教室を継続実施</p> <p>●自主事業収入プロポーザル金額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的教室収入 18,603千円</li> <li>・水泳教室収入 6,086千円</li> <li>・プロショップ収入 7,371千円</li> <li>・マンツーマントレーニング収入 4,073千円</li> <li>・大会イベントサポート事業 1,892千円</li> <li>・スケート靴等、レンタル収入 21,472千円</li> <li>・委託指導業務 901千円</li> <li>・イベント収入 1,389千円</li> <li>・その他自主事業収入 4,879千円</li> </ul> <p>●11月に教室のワンコイン体験会実施を10月に告知開始。参加者の拡大に努める。</p> <p>■スイミング短期教室では、コロナの影響により夏休みの期間変更に合わせて参加しやす時間帯に変更し、実施集客に努めた。</p> <p>（評価点：2点）</p>	A	<p>自主事業として、スポーツ教室及び文化教室を前年度に引き続き開催し、利用者のニーズに応えている。</p> <p>他施設でもあるような教室だけでなく、独自性を打ち出した教室を開催することにより、新規利用者獲得を期待する。</p> <p>紹介制度を導入することにより、利用者の呼び込みおよび定着を図っている。</p> <p>（評価点：2点）</p>	A	
③ 施設設備、機能の活用		<p>■複合施設として、様々な競技大会、イベント等を同日開催し、施設の有効活用を行った。</p> <p>■プール可動床機能があることからアーティスティックスイミングの日本代表合宿の受入れ予定であったが、コロナの影響で中止となった。</p> <p>（評価点：3点）</p>		<p>施設の中心となるメインプール、メインアリーナ、メインリンク、サブアリーナ、サブプールの利用率は高い。メインプール、サブプールにおいては、可動床により、同時に複数の目的別利用を行っており、施設機能を十分活用できている。</p> <p>（評価点：3点）</p>			
(5) 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	① 施設設備の効果的な維持管理	<p>■施設・設備維持管理基本方針に則り、資産の長寿命化と機能維持に努める。国際品質管理基準（ISO9001）に基づく施設管理を実施。</p> <p>（評価点：3点）</p>	A	<p>施設修繕会議を定期的に開催し、施設の現状と問題点や課題等を共有し、効果的な維持管理の方策を立案し、実践することができている。</p> <p>（評価点：3点）</p>			
	② 施設設備の安全管理	<p>■設備の日常巡視点検、定期点検により正常な状態を把握し、「施設故障リスト」の作成と活用により、不具合を長期化させずできる限り早くに対処する。</p> <p>（評価点：3点）</p>	A	<p>日頃からのチェック体制を整備し、安全管理に向けた意識向上を図ることができている。また、不具合が発生した場合の情報共有から対処までの体制も整備されている。</p> <p>（評価点：3点）</p>	A		

評価項目		評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
				S～C		S～		
I 提案の履行状況に関する項目	施設の効用を最大限発揮するための方策	(6) 収入確保策の実施	③ 緊急時の危機管理体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>■危機管理マニュアルに基づいた行動を心掛け、危機管理体制を共有している。</li> <li>■年間通じて、定期的な消防訓練、緊急対応訓練、CPR訓練を確実に実施し緊急時対応の技術を維持する。</li> <li>■地震・火災・水害等の緊急時は、関係機関と連携しながら利用者。従業員の安全確保を図り、被害拡大を阻止できるようにマニュアルを整備し、訓練を実施する。</li> <li>■マニュアル把握と危機対応行動が平準化できた。</li> </ul> (評価点：4点)		左記のとおり危機管理体制を整備しており、台風の際には、迅速な緊急対応および適切な体制整備を行った。  緊急事態訓練や消防訓練をはじめ、災害発生時における対応訓練等、安全研修も充実して行っている。  (評価点：3点)		
			① 広告収入等の収入確保策の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ホームページバナー広告及び月間行事案内広告、壁面広告を実施</li> <li>・HPバナー広告 3件 58千円/月 (6月より0件)</li> <li>・月間行事案内広告 5枠 105千円/月 (6月より1枠)</li> <li>・館内壁面広告 1社 10千円/月</li> <li>※上期実績424千円</li> </ul> (評価点：2点)	B	月間行事案内及びHPバナーへの広告掲載が実施されており、収入確保策の取組みがなされている。  (評価点：2点)	B	
		② 提案どおり実施されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■館内壁面広告：1社10千円/月</li> <li>■屋外広告の設置実績は無し ※スケート実施時期に横断幕を設置予定</li> </ul> (評価点：1点)		提案どおりの館内壁面広告は実施しているが、メインアリーナ大型映像広告掲載については実績がない状態である。 収入確保につなげていく必要がある。  (評価点：2点)			
	その他管理に際して必要な事項	(7) 府施策との整合	① 府、公益事業協力等の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「まいど子どもカード」利用料金割引(100円引き)実施。</li> <li>→ 令和2年は年度上期(4月～9月)実績：3件</li> <li>■「アクティブシニアパートナー」利用料金割引実施。(トレーニング、プールの利用料が500円)</li> <li>■アスマイルの啓蒙掲示物の掲示協力。</li> <li>■府政学習会への積極的な協力。</li> <li>■府各部署からの啓蒙掲示物の掲示協力。</li> <li>■大阪府各部署関係を継続的に掲示協力。</li> <li>■大阪マラソン、府催事広告、訓練参加を行っている。</li> <li>■門真警察の防犯啓蒙ポスター掲示協力。</li> <li>■守口門真市消防組合祖消防本部の防火啓蒙ポスターの掲示協力。</li> <li>■C-STEPへの継続加盟。</li> </ul> (評価点：3点)	A	府福祉部の施策である「まいど子どもカード」や「アクティブシニアパートナー」、府民文化部の施策である「大阪マラソン」、政策企画部の施策である「大阪880万人訓練」、教育庁の施策である「子どもの体力づくりサポート事業」、門真警察署や消防組合等各分野種々の事業に積極的に協力している。  (評価点：3点)		
			② 行政の福祉化の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域就労支援センター、母子支援センター等、各就労支援事業から雇用活動実施。</li> <li>■共同事業体各社 障がい者の実雇用率</li> <li>●令和2年10月1日現在</li> <li>・株式会社オージー：2.68%</li> <li>・関電ファシリティーズ株式会社：2.48%</li> <li>・株式会社パティネレジャー：4.11%</li> <li>■平成30年より、東京パラリンピックを目指すパラスポーツ競技者 1名を当施設で雇用し、様々なサポートを継続中。</li> </ul> (評価点：3点)		C-STEPへの加入や知的障がい者の清掃現場就業について、提案どおりの取組みがなされている。 また、障がい者スポーツに取り組む方の支援も積極的に行っており、アジアパラリンピック代表選手も従業員から輩出している。  障がい者の実雇用率についても3社すべてにおいて昨年度より増加している。  (評価点：3点)	A	
			③ 市民・NPOとの協働の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■なみはやスイムフェスティバルを通じて、市民ボランティアが参画できる予定であったが、コロナの影響で中止となった。</li> </ul> (評価点：2点)		左記については、毎年実施しており市民ボランティアとの協働実績があり、取り組み良好である。今年も予定されていたがコロナのため中止となった。  (評価点：2点)		
			④ 環境問題への取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■メインプール期間終了後の排水を、雨水貯蔵タンクへ移行し雑用水としてトイレの排水等に使用。</li> <li>■老朽化した照明器具を順次LED化し、節電効果の高いものに変更。</li> <li>■外気温や利用者数に応じて、濾過機、空調などの間欠運転を実施し節電に努めた。</li> <li>■空調機制御インバーターを導入し24時間必要に応じた制御ができるようにした。</li> <li>■植栽への散水機の吐出時間及び、駐輪場や街灯を季節に応じてタイマー調整し節電、節水に努めた。</li> </ul> (評価点：3点)		照明のLED化や気候・利用状況に応じた対応により、節電・節水に努めている。新たに空調機制御の導入しており、取組み良好である。  (評価点：3点)		
	I 総括			7項目(28点満点)	A	7項目(28点満点)	A	
	II さらなるサービスの	(1) 利用者満足度調査等	① 利用者満足度調査等の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>■利用希望調査表とともに、各利用団体に10月13日に送付予定、11月末までに回収。</li> <li>(令和元年度配布実績 配布数562通、回収数84通、回収率14.9%)</li> </ul> (評価点：3点)	A	専用利用の団体及び個人の利用者に対して毎年アンケートを実施している。回収率も増加している。  (評価点：3点)		
			② 調査結果のフィードバック(PDCA)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■アンケート結果を集計し、結果を従業員全員で共有して各エリアの運営に反映する。アンケート以外で寄せられたご意見、ご要望についても同様に従業員で共有し、緊急性、影響度を考慮して優先順位つけて対処する。</li> </ul> (評価点：3点)	A	利用者からの意見、要望を集計し、各種改善に生かしている。 利用調整結果の連絡時期の早期化など、要望について適宜対応を行っている。 (評価点：3点)		
① さらなるサービス向上の取組み〔指標1〕自主事業参加者数		<ul style="list-style-type: none"> <li>■新たな客層の開拓としてインストラクターが実施するプログラムを導入。「つぎはこのエアロ」「整ヨガ」「ヨガブレンダー」を増設。(令和2年度上期参加者数：158名)</li> </ul>						

評価項目		評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言
				S～C		S～	
向上に関する事項	(2)自主事業	<p>〔指標1〕自主事業参加者数 R1実績：4,000人、上半期実績：1,849人 R2目標：4,030人、上半期実績：1,081人</p> <p>〔指標2〕自主事業収入状況 R1実績：60,742千円、上半期実績：19,572千円 R2目標：66,666千円、上半期実績：8,295千円</p>	<p>■教室参加者増加のため、認知活動を強化した。講師と連携し、体験会を随時実施。月間行事案内4月での告知活動を強化した。またホームページでの告知を6月以降細かく掲載を実施した。</p> <p>■夏休み短期水泳教室では、コロナの影響もあり通常実施時間では参加が見込めないと判断したため開催時間を変更することにより集客できた。また、早期割引、複数受講割を導入し、兄弟・姉妹参加のや2期以上の申込を促進した。</p> <p>■レストランと連携し、団体利用の昼食手配や食事を案内実施および催し物を開催。大会時の軽食の販売の斡旋や仲介を行うことで、団体利用者へのサービス向上に繋がった。 (評価点：3点)</p>	A	<p>体験教室等新規利用者の獲得に積極的に努めている。</p> <p>団体利用における満足度を上げるための取り組み（昼食手配など）みを実施しており、サービス向上につなげている。  (評価点：3点)</p>	A	
	II さらなるサービスの向上に関する事項	(3)その他創意工夫	①その他創意工夫の取組み	<p>■コロナ過の中、館内の備品整理及び申請をした上で備品処分等を実施した。</p> <p>■コロナ過の中、館内の換気・ロッカーの清掃・手指消毒に注力している。</p> <p>■プールを中心に全職員で休館日を利用した集中清掃を実施。通常ではできないグレーチング部分やアーチトップなどの清掃を行い、清掃への意識向上を図った。</p> <p>■サブアリーナの状態が悪い箇所を一部張替え</p> <p>■利用頻度の高い箇所をピックアップしてLED化を実施</p> <p>■大会議室内のフローリング張替え (評価点：4点)</p>	S	<p>コロナの影響下の中で館内の部屋やトイレを含め、すべての清掃や消毒の回数を増加させ、施設の換気についても徹底して行っている。</p> <p>コロナに対する職員への意識の向上を図るとともに、全職員での清掃を実施。</p> <p>サブアリーナの張替えや照明のLED化を実施したことでより明るくなり、施設利用者からも好評である。  (評価点：3点)</p>	A
II 総括			3項目（12点満点）	A	3項目（12点満点）	A	
III 適正な管理業務の能力及び財政基	(1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度	①事業収支計画、事業収支実績状況 〔指標〕R2収支計算書（プロポーザル） 収入：583,015千円、見込み：414,761千円 支出：583,015千円、見込み：480,070千円 納付金：0千円、見込み：▲65,309千円	①事業収支及び見込み 《令和2年度：対プロポーザル比》 収入：71.1% 支出：82.3% 納付金：- % (評価点：2点)	B	<p>施設収支は平成28年度から赤字が続いており、収支計画の確実な遂行に向けた取組みが必要である。</p> <p>今年の10月よりプール補助券のPRとして門真南駅啓発し、今後の売り上げ増加を図る。  (評価点：2点)</p>	B	
	(2)安定的な運営が可能となる人的能力	①職員体制・配置	<p>■各部署に人員配置を行い管理運営を行う。</p> <p>◆管理運営業務 常勤13名、非常勤64名 ※管理運営業務内容（事務室、トレーニングジム、プール、総合案内）</p> <p>◆施設総合管理業務 ・設備管理業務 常勤8名 ・警備保安業務 常勤4名 ・清掃業務 常勤1名（非常勤13名） (評価点：3点)</p>	A	<p>プロポーザルどおり適切な人員配置が行われており、管理監督体制及び責任体制も明確にされている。  (評価点：①3点、②3点)</p>	A	
		②管理監督体制・責任体制	<p>■総括責任及び管理運営業務（スケート管理運営業務除く） → 株式会社オージースポーツ</p> <p>■維持管理業務（警備保安業務及び清掃業務を含む） → 関電ファシリティーズ株式会社</p> <p>■スケート管理運営業務 → 株式会社パティネレジャー (評価点：3点)</p>				
	③指導育成、研修体制	<p>■休館日を利用した全体安全訓練を中心に研修を実施し、スキルアップを図っている。運営MT、訓練を通じて、運営上の課題を検討して、都度改善することができた。</p> <p>夏場のプール繁忙期前にはプール安全研修を行い、遊泳者の異変の第一発見者になるための監視方法の練習や溺者への対処法などを行った。 (評価点：3点)</p>		<p>従業員の指導育成については、研修の実施等適正に行われている。  (評価点：3点)</p>			

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言
			S～C		S～	
逐行を図ることができる 盤に関する事項	<b>(3)安定的な運営が可能となる財政的基盤</b>	①株式会社オージースポーツ経営概要 売上高 14,779百万円（令和元年度） ■フィットネスクラブ、テニスクール等各種スポーツ施設運営を行う直営フィットネスクラブ(コ・ス・パ) 25店舗 ■24時間営業フィットネスクラブ（FITBASE24） 16店舗 ■高地トレーニングスタジオ 30peak 3店舗 ■直営スイミング・カルチャースクール（SENRITOよみうり）1店舗 ■直営テニスクラブ(コ・ス・ハバ) 8舗 ■直営サッカースクール(コ・ス・パ) 1施設 ■指定管理・運営受託施設 10施設 ②関電ファシリティーズ株式会社経営概要 売上高 36,400百万円（令和元年度） ■施設維持の様々な要素を総合的に管理することで効率的な施設管理を全国規模で行う。 ③株式会社パティネレジャー経営概要 売上高 3,178百万（平成30年10月～令和元年9月） ■全国的にスケートリンクの設計、設営、運営管理を行う。 （評価点：3点）	A	構成企業を含め運営基盤は概ね安定している。  （評価点：3点）	A	
		■事業体各社前期の財務指標、損益実績を明示 代表企業OGS（令和元年実績） ・売上：14,779百万円 ・原価：14,315百万円 ・利益：463百万円 ■財務基盤の自己評価（令和元年度実績） ・総資：21,992百万円 （評価点：3点）		構成企業を含め財政基盤は概ね健全であると考ええる。  （評価点：3点）		
	III 総括	3項目（12点満点）	A	3項目（12点満点）	A	